

常陸太田市教育委員会定例会（11月）会議録

- 1 日 時 平成29年11月22日（水）午後1時26分
- 2 場 所 市役所 分庁舎 教育委員会会議室
- 3 出席者 教育長 中原 一博
教育長職務代理者 中村 和幸
委員 大金 隆子
委員 稲田 昌孝
委員 安西 仁人
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局職員 教育次長 生天目 忍
教育総務課長 綿引 久雄
指導室長 西連寺 有
生涯学習課長兼生涯学習センター館長 関 勝仁
文化課長 大畠 敬一
スポーツ振興課長 木村 久男
図書館長 大久保 佳明
学校給食センター所長 増山 泉
- 6 会議録署名委員 大金 隆子 委員
- 7 議 案
議案第27号 常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について
議案第28号 平成29年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）案（教育費関係）の編成に対する意見について
議案第29号 常陸太田市就学援助実施要綱の一部改正について
- 8 その他
 - ・平成29年度（平成28年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
 - ・平成30年成人式開催計画について
 - ・教育委員会行事等について
- 9 閉 会 （午後2時45分）

教育長	午後１時２６分、ただ今から教育委員会１１月定例会を開会する。 出席者ですが教育委員全員出席です。事務局職員についても全員出席です。会議録署名委員は大金隆子委員にお願いします。 １１月は教育委員さんには県が主催する研修会や常陸太田市の教育を語る会などの行事に出席していただき感謝します。教育月間ということで、地域と連携した学校公開がされ、学習面や運動面においても充実した教育活動が進められているところです。金砂郷中学校では駅伝大会において関東大会に出場しますし、ものづくりにちなみロボットコンテストの全国大会が開かれますがこれも金砂郷中学校が出場します。市のイベントも、賑わいを見せています。先日の西金砂登山マラソンでも市内外から多くの出場者が参加され盛況に終わったところです。 それでは、早速議案に移ります。本日の議案は３件あります。まず、議案第２７号「常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について」事務局から説明をお願いします。
教育次長	それでは、議案第２７号議案について、説明をいたします。資料の１ページをご覧ください。議案第２７号「常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について」です。こちらは、市長から意見を求められた本条例の制定について同意するものです。提案理由ですが、常陸太田市立のぞみ幼稚園を常陸太田市のぞみこども園とし、並びに常陸太田市すいふ保育園及び常陸太田市立水府幼稚園を統合し、常陸太田市すいふこども園とするため、本条例の一部改正を行うものであります。新旧対照表でご説明いたします。資料の４ページをご覧ください。条例文の第３条に名称及び位置ということで見出しがございます。現行制度ですと、こども園はさとみこども園１施設となっていますが、改正案では、のぞみこども園を幡町１３１１番地に、そして、すいふこども園を国安町６６３番地に、以上２施設の追加をするものです。２ページにあります。附則といたしまして、施行期日は平成３０年４月１日から施行するものとなっております。教育委員会関係といたしましては、資料の３ページ、附則の６ですが、常陸太田市立幼稚園設置条例の一部改正が記載されています。現行の条例が、資料の５ページから７ページに掲載してありますが、そのうち７ページに別表があります。現在、全７施設があるところですが、ここから、のぞみ幼稚園と水府幼稚園の項が削られることになります。以上です。
教育長	ただいま、議案第２７号について説明がありました。何か質疑等がありますでしょうか？

教育委員	特に意見等なし。
教育長	特にないようですので、議案第27号につきましては、議決いただけたということといたします。続いて、議案第28号に移ります。議案第28号「平成29年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）案（教育費関係）の編成に対する意見について」事務局より説明願います。
教育次長	それでは、資料の8ページをお開き願います。「平成29年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）案（教育費関係）の編成に対する意見について」です。こちらは、地方教育行政法第29条の規定に基づき、市長から意見を求められた平成29年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）案（教育費関係）について同意するものであります。歳入・歳出ともにありますが、主なものを説明いたします。 まず歳入ですが、資料の10ページです。16款・財産収入、1項・財産運用収入、2目・利子及び配当金です。1節の利子及び配当金として、奨学基金預金利子、里美地区学校建設基金預金利子、金砂郷地区学校建設基金預金利子ということで、3件の預金利子があります。それぞれ確定予定の預金利子として計上をしているものです。 続いて歳出です。11ページになります。9款・教育費ですが、2目・事務局費に25節・積立金と28節繰出金があります。積立金・繰出金ともに、さきほどの預金利子分ということで計上をした額を歳出として計上しているものです。次に2目の教育振興費、19節・負担金補助金及び交付金ですが、そのうちの補助金として中学生海外派遣事業で680千円減額の補正を計上するものです。こちらは中学生海外派遣研修事業が7月から8月で事業完了となったものですが、実施済みの事業において不用額が生じたので補正減とするものです。続いて12ページです。4項・幼稚園費、2目教育振興費ですが、19節・負担金で施設型給付費に補正があります。こちらは保育教育に係る費用を市が支払うことになっており、増額補正とするものです。最後に、6項保健体育費ですが、12節役務費と18節備品購入費ですが、公用車購入費の不用額が生じ減額補正をするものです。13節・委託料ですが、プール監視業務委託と機械警備保守管理委託について、業務完了となり不用額が生じたことから補正減とするものです。以上歳入歳出補正についての説明となります。

教育長	ただいま、議案第28号について説明がありました。何か質疑等がありますでしょうか？ただ今の説明のとおり、予定していた事業が完了し、不用額が生じた際には、補正減とすることが基本的な考え方となっております。
委員	施設型給付費の内容と、プール監視業務委託のプールはどこのプールが対象であったか教えてください。
教育総務課長	施設型給付費の件について説明します。市内に在住している児童で、例えば、もみや幼稚園ですとか三つ葉幼稚園など、市外の私立幼稚園に通う場合、本市がその施設に児童の保育・教育費用ということで、その費用を支払うこととなっております。当初、市外の私立幼稚園には4名の入園児童がおり、そのための施設給付費を計上しておりましたが、今年度、16名が予定されておまして、これにより、増額補正の計上をするものです。
スポーツ振興課長	次にプールの件ですが、こちらは金砂郷地区の大里ふれあいプールと水府地区の水府海洋センターのプール2か所です。監視業務委託の減額補正については、日数が少なかったため、入札差金で不用額が生じたものであります。
教育長	それでは、次に移ります。議案第29号「常陸太田市就学援助実施要綱の一部改正について」事務局から説明願います。
教育次長	それでは、資料は13ページになります。議案第29号「常陸太田市就学援助実施要綱の一部改正について」ですが、提案理由として、援助を必要とする児童生徒の保護者の負担を軽減することを目的に、入学する年度の開始前に就学に要する費用の一部を補助するため、本要綱の一部改正を行うものであります。資料の21ページから23ページにかけて新旧対照表があります。第2条に就学援助の対象者という見出しがありますが、その対象に次年度の就学を予定する児童の保護者についても新たに対象として含めることとしているものです。新入学児童生徒学用品費については、本市の場合、これまで7月に支給を行っていましたところ、4月に手続きをして5月に支給することといたしました。就学年度の前年度支給の実施については、本市で支給しながらも転出されたケースについては、支給した新入学児童生徒学用品費を返還させなければならないケースも起こりうることから、研究課題の一つとしてきましたが、今回は入学準備金という新たな1号を設け、就学前に支給することで、対象保護者の経済的負担の軽減を図るものとするところです。第5条以降の改正文については、その手続方法等について改正を加えるものであります。 20ページになりまして、附則がありますが、この告示は平成29年1

	2月1日から施行するものであります。従いまして、公示日以降、新制度の周知をし、今年度内に支給できるように事務手続きを進めていきたいと考えています。
教育長	ただいま、議案第29号について説明がありました。何か質疑等がありますでしょうか？
委員	改正案の言い回しでは、次年度に就学を予定する生徒、つまりは今の小学6年生は対象から除外されるように受け止めたが、中学校に入学する生徒はどのように扱われるのか？ 他市の実態はどのようなものであるか？ 新旧対象表からは「又は」という標記と「若しくは」という標記が混在している。使い分けの意図はありますか？
教育総務課長	まず、生徒の文言を加えるかどうかは、再度法制関係課とも確認のうえ、整理させていただきたく思います。事務局で確認しますので、教育委員さんにはその旨了承いただければと思いますがよろしいでしょうか？ 次に他市の実態ですが、今回の本市のように、入学する年度の開始前に就学に要する費用を補助することは、近隣市町村では実施状況がありませんで、県内では守谷市が実施しているのみとなっております。ある調査では、県内の11団体が前倒し支給について検討中であるとの回答がされているところで、県内の市町村においても、今後、前倒し支給について前向きに検討がなされる流れにあらうかと思われます。 最後に「又は」と「若しくは」の使い分けですが、一文が長くなることもあり、その同じ一文の後方に再度「又は」という標記がありますが、「又は」「又は」が繋がることを避ける意味も含めまして、「若しくは」という標記を用いているところです。
教育長	その他、質疑等はございますか？ ないようですので、議案第29号については議決いただけたということといたします。それでは、以上3件、本日の議事はすべて終了となります。
教育総務課長	次に、7その他に移ります。日程表にありますように2点予定されていますが、まず、平成29年度（平成28年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について説明願います。 それでは、資料は別冊になります。平成29年度（平成28年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書についてです。1ページをお開きください。趣旨ですが、こちらは地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき行うものです。点検・評価の対象ですが、平成28年度施策を点検評価するもので、常陸太田市第5次総合計画後期基本計画における教育委員会所管の

12施策、事業としては43事業を対象としております。点検・評価の方法ですが、事務事業、施策ともに、3段階評価で行っております。次に2ページですが、この点検評価の報告書については、学識経験者の知見を活用することになっており、資料にありますように、3人の外部委員を立て審議を行ったところであります。学校教育から元学校長であります「岩間敦子先生」、社会教育から社会教育会議長の「豊田一議長」、保護者を代表しまして市女性ネットワーク委員会委員長の「田辺和子様」を委員といたしまして審議を諮ってまいりました。この後、12月の市議会に提出するとともに、市ホームページにより公表していくものであります。3ページからは12施策43事業の施策事業ごとの3段階評価を示した一覧になっております。詳細については主な事業を抜粋しまして後ほど説明します。最後に5ページですが、報告書策定に至るまでのスケジュールを記載してございます。先日、教育行政評価委員会を開催しまして、本日教育委員会定例会にて報告、来月の12月1日には12月市議会定例会の初日に議会へ提出する流れとなっております。

それでは、各施策・各事業の概要、また教育行政評価委員会における委員意見等について主なものについてご説明いたします。各課等の主な事業について説明させていただきます。

まずは、施策名「魅力ある学校づくり」です。資料は10ページになります。事業名に学校統廃合とあります。学校統廃合については教育総務課が担当しております。主な成果ということで、学校施設検討協議会より提出された意見書を踏まえ、水府地区小学校の統合と中学校との小中一貫教育の推進について、保護者や地区住民との意見調整を経て、平成30年4月の小学校統合について合意形成を図ったこと、統合に係る諸事項の協議検討を図るため、保護者、学校、市教委で構成される統合調整会議を設置したこと、これらを挙げております。

事業評価といたしまして期待した効果があったということで「a評価」としております。11ページには教育行政評価委員意見がありますが、学校統廃合については、児童生徒数の減少によってはやむを得ない状況であること、学級の適正規模などの教育環境を第一に捉え、保護者や地域住民との意見交換について丁寧に対応をされたい旨の意見をいただいております。

続いて12ページ、活力ある学校づくり推進事業ですが、各学校が学校評価、県学力診断テスト、全国学力・学習状況調査、体力テスト等の分析と改善策及び生徒指導上の実態に基づいた課題解決を目指したり、地域の特性を取り入れたりしながら、特色ある学校づくりを推進することによ

り、児童生徒の一人一人の夢育を推進するということで、指導室が担当課となっているものです。委員意見としては、各学校において、それぞれの地域の実情に合わせた取組が推進されているとの意見、郷土・常陸太田市への愛着を育む活動にも積極的に進め、より一層、活力ある学校づくりをPRして欲しいとの意見をいただいております。

続いて16ページ、公民館活動活性化対策事業です。こちらは、生涯学習課の事業となります。施策名としては「多様な学習機会の支援」です。主な成果ですが、地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、人づくり・まちづくりに資するため、市内15の公民館において251種の教室、講座を運営し、29,857人の参加者があったということです。施策の評価に関する委員意見ですが、17ページに記載のとおりで、公民館活動については、幅広い分野で学級・講座等が開催されていること。子ども科学クラブについては、子どもたちの興味・関心、理解の程度に応じて、例えば学年別にその内容を変えるなど工夫を凝らしながら事業も推進を図ってもらいたい旨の意見をいただいております。

続いて20ページ、施策名「スポーツ・レクリエーション活動への支援」です。こちらはスポーツ振興課の事業で、市民体力づくり推進事業がございます。主な成果ですが、ラジオ体操教室、巡回スポーツ、子どもたちを対象とした教室等の実施により、健康づくりやスポーツの振興を図ることができたこと、特にラジオ体操については、スポーツ推進委員協議会と連携を図り普及に努めることができたことを挙げております。委員意見であります、ゴールデンエイジといわれるジュニア世代から若者はもちろん、高齢化に対応した年齢層まで広くスポーツやレクリエーションを楽しむ環境が整っている。引き続き、各世代に応じたスポーツの推進を図ってもらいたいとの意見がありました。

続いて23ページ、施策名「地産地消の推進」です。こちらは学校給食センターが担当課となっております。地産地消の推進ですが、地元食材にこだわった特別メニューを提供する「地産地消の日」を設けております。これにより、児童生徒の地域への理解や関心を高めることを目指しているところであります。委員意見ですが、地産地消の給食の提供については、運営コストが高くなる課題がありますが、子どもたちの地元への愛着や安全安心の観点から、引き続き積極的に活用して欲しい。併せて、地元産のよさ、愛校心や愛着心を育む取組について工夫を講じて欲しいとの意見がありました。

続いて24ページ、施策名「歴史資源の確保・活用」です。文化課が主管課となっております。事業名ですが、指定文化財公開推進事業というこ

	とで、指定文化財集中曝涼を毎年開催しているところであります。主な成果ですが、公開24か所で、延べ11481名が来場されていること、また、茨城大学の学生に解説ボランティアを依頼しており内容の充実を図っており、来場者から好評を得ているところであります。次のページに委員意見をまとめております。委員意見として、集中曝涼は市民にとって文化財を最も身近に感じられる機会のひとつとして定着しているので、引き続きPRを進めていってほしいとの意見が出されました。 続いて資料の27ページ、最後の施策となります。「広域連携・交流の推進」という施策です。公共図書館広域相互利用事業ということで、図書館が主管課となっております。本市を含む日立市、高萩市、北茨城市、福島県いわき市の図書館が、広域利用協定市の利用者にそれぞれ図書資料の貸出を行っている事業がございます。地元の図書館に行くのが不便だった利用者が他市の図書を借りられるようになり図書の利用向上が図られたということで、成果が認められております。委員意見ですが、図書利用や市民の利便向上性を図るため、生活圏を密にする地域について、公共図書館広域相互利用を再度調整する方向性で進めていっていただきたいとの意見が出されております。 以上が常陸太田市第5次総合計画後期基本計画における教育委員会所管12施策の評価、教育委員会各課室の主要な事業に係る説明となります。28ページ以降については、「教育委員会の活動状況」について参考資料として掲載しております。後ほどご覧いただきたく思います。教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書につきましては以上となります。
委員	生涯学習課の事業で、公民館活動活性化対策事業について、学校にもPRして講座が拡充となればよいと考えている。
指導室長	すべての地域を網羅することは困難であるが、それぞれの地域の実情に応じてこの活動がなされている。郷土を愛し、未来を拓く児童生徒の育成に努めていきたい。また、郷土から学ぶ、体験的に学ぶことができるように進めていきたいと考えている。
委員	地域子ども安全ボランティアの活動状況であるが、中にはボランティアとして登録はされているが活動がなされていない地域の実態もあると伺っている。登録人数だけではなく、実際の活動日数を把握していかないことには、本来の事業評価に結び付きにくいように感じている。
教育総務課長	教育行政評価委員会においても、同様の意見が出されていることから、実際の活動実績が充実となるよう工夫を講じていきたいと考えている。
委員	図書館の公共図書館広域相互利用であるが、有効な施策である。課題と

図書館長 生涯学習課長	すれば、他市との協定が振り出しに戻ってしまったとのことだが、その検討経過・理由は何か？ 本市では広域相互利用について前向きに検討してきたが、関係する市町村において返却が遅れるケースへの対応などを含めて、いろいろな課題も出された。市民にとっては効果的な事業と考えるので、引き続き調整を図っていきたいと考えている。
生涯学習課長	続いて、その他の２点目、「平成３０年成人式開催計画について」であります。資料は一枚限りのもので大会概要が記載された資料がございます。まず、期日ですが、平成３０年１月７日（日曜日）、１０時から受付を開始し、１０時４５分から式典、１１時１５分からアトラクション、記念写真撮影と流れていきます。主催は常陸太田市と常陸太田市教育委員会ですので、教育委員会委員の皆様も出席いただくことになります。運営は成人式実行員会です。これまでも月２回程度で実行員会を開催し式典に係る企画立案の協議をすすめているところであります。内容ですが、実行委員が作成したスライドの上映、アトラクションは地元出身のマシコタツロウさんと元常陸太田アンバサダー吉川友さんによるミニコンサートを予定しております。対象者・参加見込み数ですが、平成２４年度中学校３学年生徒数で計５４４人を予定しています。資料にはこれまでの９年間の成人式参加実績が記載されておりますので、参考にご覧いただきたいと思います。以上です。
文化課長	文化課から教育委員会行事ということで、チラシを用意いたしましたのでご覧願います。 ・所蔵資料展 茨城の彫刻 生誕１２０年 ～森山朝光を中心に～ ・カーゴ・カルト in kenpoku ・パルティホール 自主事業のお知らせ（下記の３件） ・稲垣潤一コンサート 2018 ・大野雄二&ルパンティックシックス ジャズライブ ・星と小さな音楽会（ピアノとフルート）
教育総務課	平成３０年１月１６日（火）１０時 平成２９年度第１回総合教育会議 市役所全員協議会室 案件：常陸太田市の学校教育に関する現状と課題について
教育総務課	・次回、教育委員会（１２月）の日程について 期日：１２月２５日（月）午後４時３０分（教育振興大会終了後） 場所：市民交流センター会議室

	閉会（１４：４５）
	所要時間　１時間１９分